



# IBMの製品処理業者管理と展開

IBM 環境統括 プログラムマネージャ  
部長 野澤一美

# 内容

## 1. IBM環境マネジメント・システム

- ・ IBMの環境組織
- 環境ポリシー（CP139）
- IBMの環境マネジメント・システム&環境プログラム

## 2. IBMリユース・リサイクル

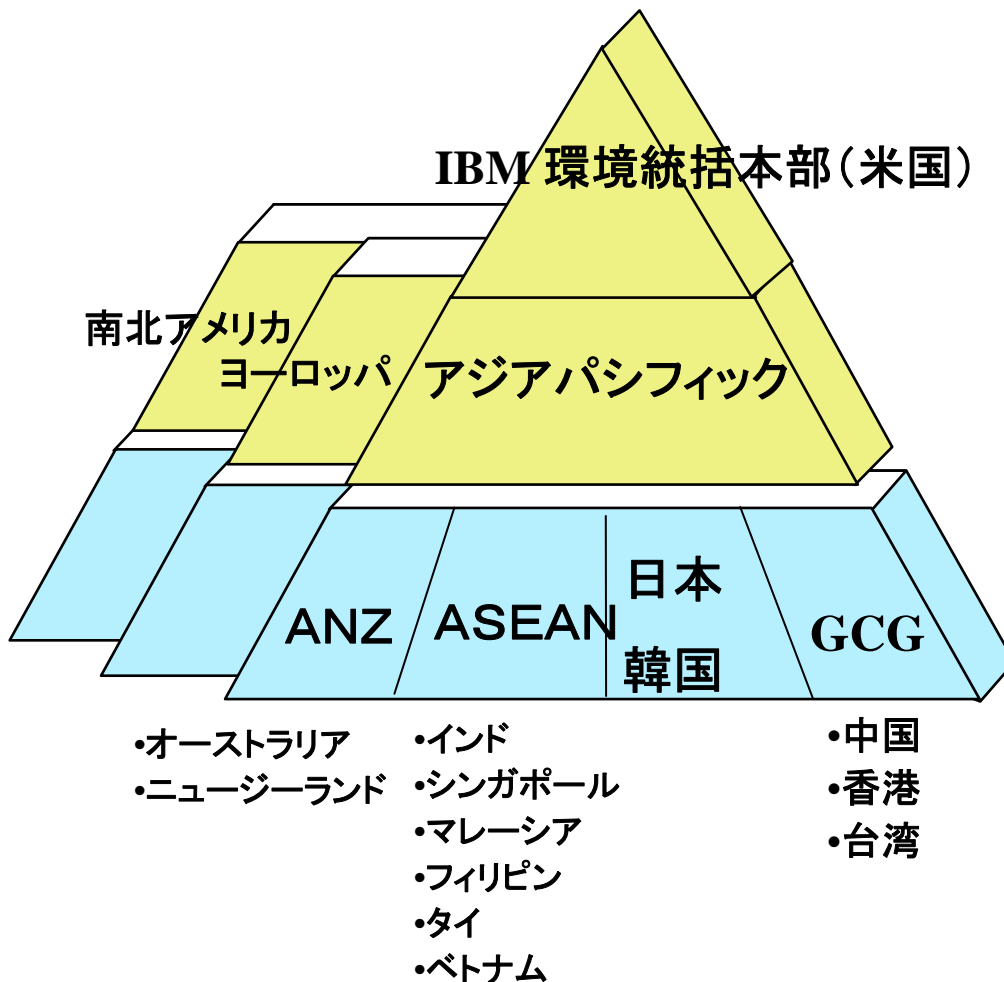
- IBMリユース&リサイクルコンセプト
- 製品再生, 解体のグローバル拠点（添付していません）
- 使用済製品の解体

## 3. 使用済製品処理業者の評価

- 評価概念
  - ・ 次工程が非OECD国の業者評価
- 事前評価
- 現場評価
  - ・ 設備履歴と概観
  - ・ 設備構造／化学物質管理－保管
  - ・ 二次処理業者の管理

## 4. 使用済製品処理業者のインフラマッピング

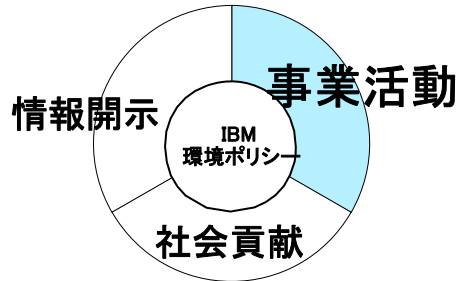
## IBMの環境組織



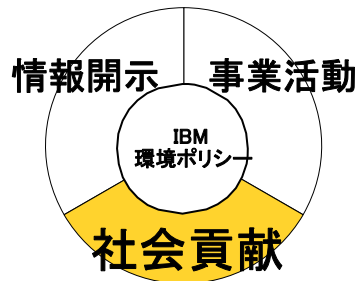
米国組織による  
直接管理

上記環境統括メン  
バーが環境活  
動を監視

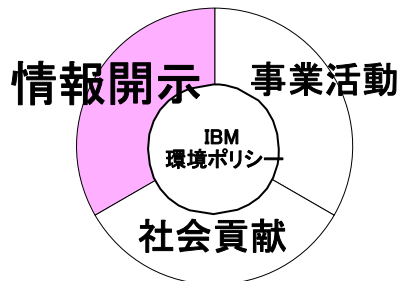
## 環境ポリシー(CP139)



- 職場の安全衛生の確保
- 地域の環境保護に責任ある対応
- 資源の節約と再利用
- 環境に配慮した製品の開発・提供
- 環境に配慮した開発・製造工程
- エネルギーの責任ある使用



- 地球環境保護活動への参画と技術貢献
- 地球問題解決の支援のためのIBMの製品、技術、サービスの活用



- 独自の厳しい基準値、継続的改善、環境情報開示
- 環境プロGRESS・レポートの定期的な発行
- 厳格な環境監査と取締役会への報告

# IBM環境マネジメント・システム

## IBMの環境マネジメント・システム&環境プログラム



使用済製品



## IBMリユース&リサイクルコンセプト



### リユースセンター

#### <製品再生工程>

- 受入検査
- 稼動テスト
- 仕様変更・技術変更
- データ消去
- プログラムの導入
- 品質保証テスト
- 品質検査
- クリーニング
- 梱包

部品回収品

#### <部品再生工程>

- 部品の抜き取り
- 部品のECの適用
- 部品品質保証テスト
- 部品品質検査
- クリーニング
- 梱包

不要品

廃棄製品

### リサイクルセンター

- 手解体
- 有害物・危険物抜取り
- 機能破壊
- 減容量化
- 分別



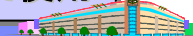
製品倉庫

中古製品として販売



部品倉庫

保守部品として使用



資材・原料リサイクル事業者



金属・プラスチック・ガラス  
材料リサイクル



熱・還元剤  
として利用

## 使用済製品の解体

### 部品の解体



## 材料ごとの分別



ケーブル類

金属

液晶ディスプレイ ユニット



電子回路

蛍光管

プラスチック

## 電気回路基板の破碎



## 液晶パネルの解体



## CRTモニターの解体と材料毎の分別



## プラスチックのプロセス



プラスチック毎の分別

シュレッダー

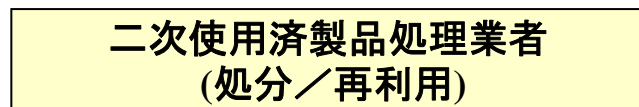
細かく裁断されたプラスチック

## 評価概念

- 使用済製品処理業者は**米国IBMの承認**なくして使用禁止
- **評価**は、設備が政府許可を所有するかどうかにかかわらず行われる。
- 使用済製品業者の次工程が**非OECD国**の業者にて行われる場合、その業者を評価し承認する。
- **3年に一度**使用済製品業者を再評価する。

# 使用済製品処理業者の評価

## 次工程が非OECD国の業者評価



材料のリサイクル



最終処分サービス供給業者  
(埋め立て)



e-Waste

IBMの評価と監査により  
e-Wasteを適正処理

非OECD国

## 事前評価

- 業者情報(名前、場所、対応先)
- 設備概要
- IBMに提供されるサービス内容
- 化学物質の取り扱い(IBMが提供の場合)
- 業者工程の結果として残る残渣
- 安全対応の準備状況
- 法律等の遵守
- 罰則等の有無

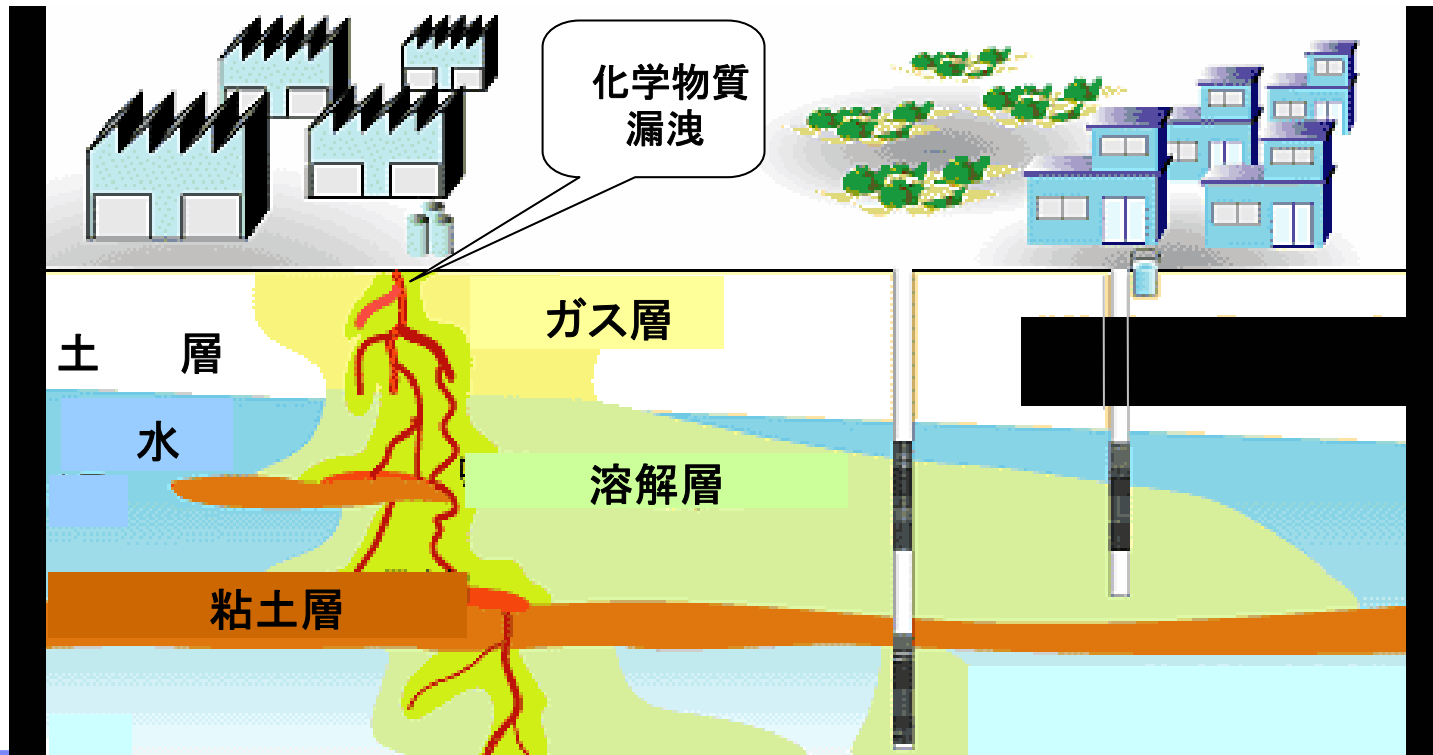
## 現場評価

- 業者との会見
- **設備履歴と概観**
- 幹部の環境対応に対するコミットメント
- 入庫管理と次工程の追跡管理
- 手順書、データ、保守とレコード
- **設備構造、安全とセキュリティ**
- **化学物質管理－保管、扱い、処分**
- 使用済材料の管理
- **二次処理業者の管理**
- 法律要求事項、許可と遵守記録
- 健全な財政状態と環境保険
- 他のプログラム

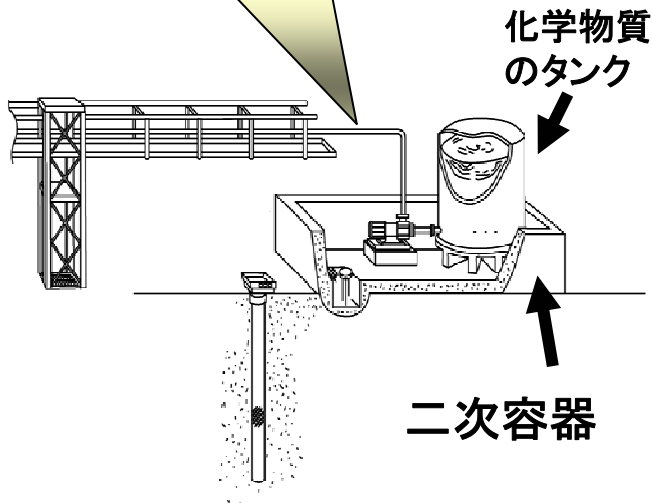
# 使用済製品処理業者の評価

## 設備履歴と概観

- 操業前の土地使用形態と工程（環境汚染の想定）
- 化学物質の地下貯蔵タンク（有無、撤去 等）
- 廃棄物埋め立処分場の可能性（土地の履歴）
- 過去、現在の状況を考慮した業者の環境対応



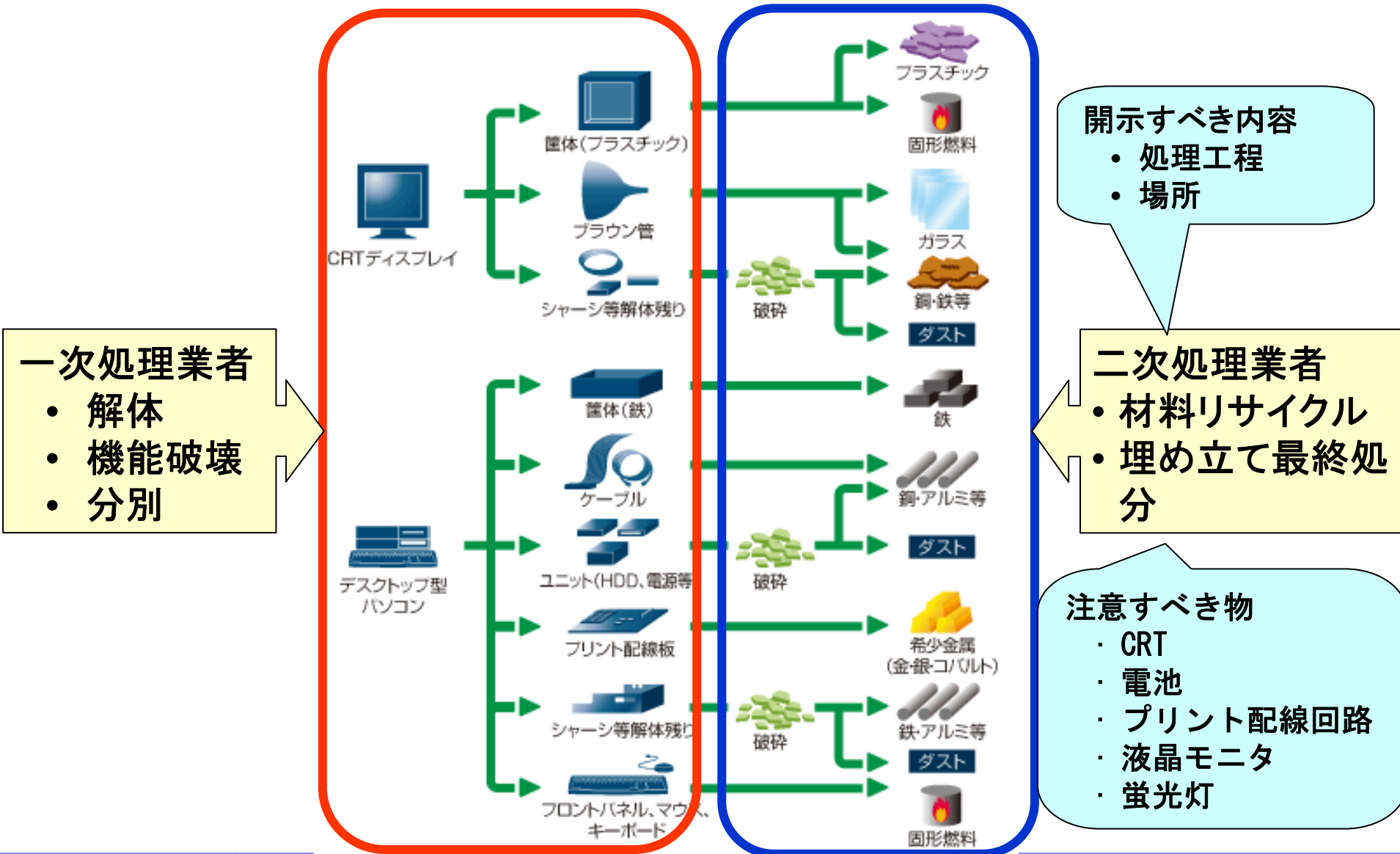
## 設備構造／化学物質管理－保管

化学物質漏れによる  
土壌汚染予防策

- 地上設置タンク
- 二次容器収容量は110パーセント
- 液体漏洩を監視できる

# 使用済製品処理業者の評価

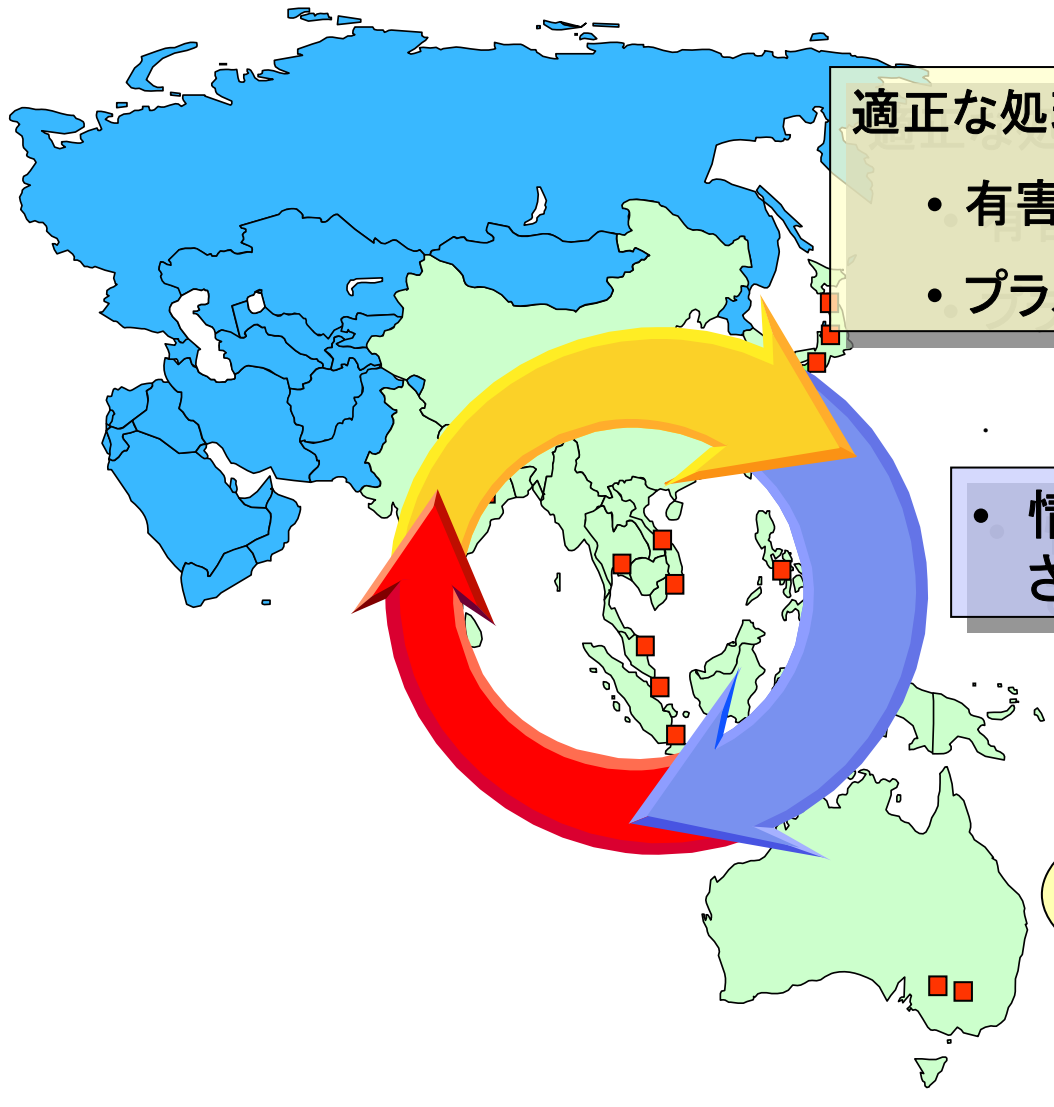
## 二次処理業者の管理



# 使用済製品処理業者のインフラマッピング

## 適正な処理業者の評価とマッピング

- 有害物質を含む物の処理、リサイクル
- プラスチック、鉄、非鉄のリサイクル

- 
- 情報ネットワークにより、環境配慮された処理業者の使用

埋め立て量の最小限  
化、適正処理の推進  
に貢献

「清聴ありがとうございました」